

歯の根の治療について

あなたの歯を、できるだけ長く残すために。

今日のご説明を、ご自宅でご読み返せるようにまとめました。ご家族といっしょにお読みください。

担当医

治療する歯

説明日

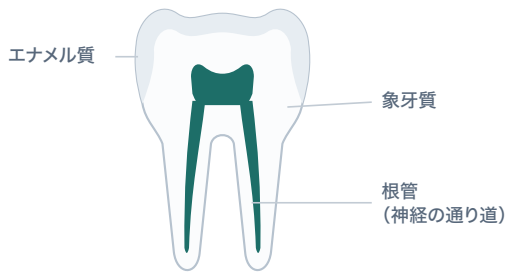
年

月

日

01 根管治療とは？

歯の根の中を、きれいに掃除する治療です。



歯の中には、細いトンネルがあります。
これを「根管（こんかん）」と呼びます。
中には、神経と血管が通っています。
むし歯が進むと、ここに細菌が入ります。
この汚れを取り除くのが、根管治療です。

はじめての治療 いわゆる「神経を抜く」治療。

やり直しの治療 再び感染した根を、もう一度消毒。

02 なぜ、この治療が必要なのですか？

歯を抜かずに残すための、大切な治療だからです。



細菌が神経に届く
むし歯が進み、神経が感染します。



根の先に膿がたまる
痛みや腫れが出ることも。



抜歯が必要になる
歯を残せなくなります。

03 何回くらい、通うことになりますか？

通院は2～4回。1回60分かけるのは、急ぐと細菌が残るからです。



STEP 1

診査・診断

根の形を確認



STEP 2

壁をつくる

歯を補強する



STEP 3

ラバーダム

無菌の環境に



STEP 4

掃除・消毒

時間をかけ洗う



STEP 5

薬を詰める

通り道をふさぐ



STEP 6

かぶせ物

治療が完成

04 治療のあいだに、知っておいていただきたいこと

- ☐ 仮のフタは、取れやすいことがあります。

☐ 治療した側で硬いものを噛まないでください。

☐ 数日、噛むと違和感が出る場合があります。

☐ 強い痛みや腫れが出たら、ご連絡ください。
- Q 治療は痛いですか？**
麻酔をします。痛みはほとんどありません。

Q 痛みがなくなったら、途中でやめてもいいですか？
症状が消えても、細菌が残っていることがあります。
歯を長く残すには、最後まで治療を受けることが大切です。

05 歯を長く残すために、大切な5つのこと

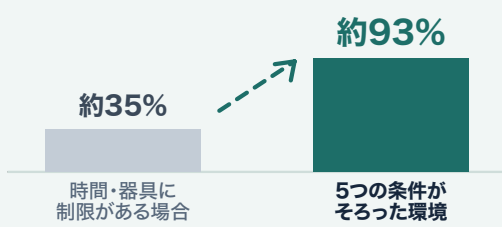
ゴールはひとつです。「根の中に、細菌を残さない・入れない」こと。

	ラバーダム 歯を覆うゴムのシート		細菌を入れない
	歯科用CT 立体的に撮影する装置		根の形をつかむ
	マイクロスコープ 歯科用の顕微鏡		汚れを見つける
	十分な治療時間 1回60分・2～4回以上		汚れを残さない
	ぴったり合うかぶせ物 適合精度		すき間をつくらない

条件がそろえば、
再感染は起こりにくくなります。

同じ歯でも、環境を整えるだけで結果は変わります。

※ はじめての根管治療の成功率として報告されている数値です。出典は院内でご案内できます。
※ 成功率は治療環境や症例条件によって異なります。ここでは、条件を十分に整えた場合と制限がある場合の代表的な報告例を示しています。
※ 保険診療が劣るという意味ではありません。使える時間・器具・材料に国の決まりがあるためです。



06 2つの選択肢があります

どちらを選ばれても、私たちは最善を尽くします。

OPTION A

保険診療の根管治療

- 国が定めた範囲の中で行います
- 時間・器具・材料に決まりがあります
- ご負担が少なく受けやすい治療です

まずはこの方法で始め、経過を見ることもできます。

費用について

窓口でのお支払い

3割負担の場合。回数により変わります。

数千円ほど

OPTION B

精密根管治療(自由診療)

- 5つの条件をすべて整えて行います
- 1回60分・2～4回以上かけます
- かぶせ物まで含めて再感染を防ぎます

治療後の経過も確認しながらお手伝いします。

費用について

くわしい料金は、下の一覧をご覧ください。

OPTION B 精密根管治療(自由診療)の費用

※ 表示価格はすべて税別です。

① 根管治療費	② 必要なときだけ追加となる処置	③ 上部構造(かぶせ物)
前歯・小臼歯	穿孔封鎖	セラミッククラウン
大臼歯	破折ファイル除去	
	外科的歯内療法	
	通常	
	精密根管治療(自由診療)を受けられている方	
	追加料金	

日本の制度上、自由診療で根管治療を行う場合は、上部構造も自由診療となります。

※ 同じ歯に対して、自由診療の根管治療と保険診療の上部構造を組み合わせることはできません。

10年後、20年後のために

今日の治療は、10年後・20年後の歯を守る治療です。

この一本と、長くつきあっていきましょう。
気になることは、いつでもお尋ねください。

私たちは、治療して終わりではなく、
できるだけ長くご自身の歯で過ごしていただくことを目標に診療しています。